

第23回火山噴火予知連絡会議事録

日 時：昭和56年10月26日 14時05分－16時50分

場 所：気象庁第1会議室

出席者：委員：下鶴，横山，高木，力武，行武，青木，久保寺，加茂，太田，小坂，中村*（科技厅），小松原，飯田*（文部省），小野，土肥*（国土地理院），中嶋*（水路部），高橋，末広，山川，田*（気象研），河村

注）*印：委員の代理出席，（ ）内は所属

オブザーバー：山浦，小宮（国土庁），高橋（文部省），熊谷（防災センター），秋山，久本（気象庁）

庶務：清水，吉留，永福，宇平

1. 新委員の紹介（山川委員）

測地学審議会地震火山部会長浅田敏氏（東海大学開発技術研究所教授）から力武常次氏（日本大学教授）

国土庁震災対策課長檜崎泰道氏から小松原茂郎氏

文部省学術課長十文字孝夫氏から川村恒明氏

2. 第22回連絡会議事録（案）は異議なく承認された。

北大の報告書の件につき，横山委員より次の説明があり了承された。

「有珠山の活動では熱雲の発生が危ぶまれたが，1978年4月ごろはその危険も遠のいたことを地方の新聞が取り上げたものと思う。この状況については許されるなら本連絡会報に執筆報告しておきたいと考えている。」

3. 最近の火山活動

3.1 桜島

清水（気象庁）：活動推移並びにA型地震について

加茂委員：活動経過並びに降灰量について

河村委員：地磁気観測結果報告

小野委員：9月13日の爆発による噴出物につき質疑

（桜島火山活動は本年6月以降やや活発化している）

3.2 浅間山

清水（気象庁）：活動推移

下鶴委員：地震活動経過

田委員代理：辺長測量について

3.3 阿蘇山

清水（気象庁）：活動推移

河村委員：地磁気観測結果報告

3.4 有珠山

清水（気象庁）：地震回数推移

横山委員：地震発生状況，地殻変動状況等について

久保寺委員：有珠で起った地震が地震月報に記載されない理由について

山川委員：調査してみる。

3.5 樽前山

清水（気象庁）：付近で起った地震について

横山委員：震源分布，辺長変化等について

3.6 焼 岳

青木委員：傾動・地震活動等について

（火口付近の隆起を示す傾動がやや増大している）

3.7 御岳山

小坂委員：地球化学的研究報告

（活動減退の傾向がみられる）

小松原委員：火山ガス対策について

3.8 九重山

久保寺委員：タイムターム法による速度構造の推定

3.9 南硫黄島周辺海底火山

中嶋委員代理：最近の活動等について

3.10 富士山

下鶴委員：地震活動について

3.11 その他

(1) 土肥委員代理：ア. 火山基本図（三宅島，桜島）につき説明

イ. 火山基本図発行状況

昭和54年度：有珠山，吾妻山，御岳山

昭和55年度：三宅島，桜島

昭和56年度（予定）：伊豆大島，阿蘇山

(2) 小野委員：有珠火山地質図，日本の火山（第2版）につき説明

4. 協議事項

4.1 次回連絡会開催期日

2月9日（火）を予定

4.2 連絡会報原稿について

(1) 締め切り期日

現行より締め切り期日を1月早め，発行期日も1月早めることが庶務から提案され了承された。

(2) 外国の利用にこたえるため，図表のキャプションにつき横山委員から提案があり，検討の結果，

和文のほかに英文を併記するよう決議された。

4.3 その他

- (1) 火山機動実施報告第17号(新潟焼山, 御岳山)と昭和56年度火山機動観測実施状況につき説明(気象庁, 清水)
- (2) 1981年9月3日朝7時のNHKニュースについて(下鶴会長, 横山委員)

[17:00～17:25 記者会見 気象庁第1会議室(6F)]